

# 平成30年度 三河港岸壁本体工事

発注者:三河港湾事務所  
受注者:若築建設株式会社

2012年入社

## 益本 裕章



### ・建設業に入った動機

忘れもしません。小学生の頃、祖父の住む福岡県の家へ車で向かっている途中でした。山口県と福岡県を結ぶ関門橋の上で衝撃を受けました。「海の上を走っている」と。

それ以来、海や川といった水の上にどのようにして構造物が作られているのかということに疑問をいだくようになりました。

そして、いつしか自分も携わってみたいと思ったことが建設業に入るきっかけでした。

### ・工事の概要

三河港の神野地区は完成自動車やコンテナ貨物などを扱う重要拠点となっています。この工事は三河港神野地区岸壁の老朽化が著しいため、港湾荷役の安全性向上と機能回復を目的として、岸壁を改良する工事です。



### ・現場での役割

現場監督としてすべきことは、図面と現地が一致しているかを確認することや、作業している方達の体調は大丈夫か、といった管理がメインとなります。

自分の管理次第で物事が進んでいくので、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

### ・建設業入職希望者へのメッセージ

建設業は3K(きつい・きたない・危険)のイメージがある方も多いと思いますが、今は女性技術者も増え、3Kが縁のない言葉になろうとしています。今後も働き方改革によって今よりも働きやすい環境になると思いますので、3Kのイメージを払拭して建設業に飛び込んできて下さい！